

第 173 回 第二次世界大戦②

1 日本の動向

- 日本は、1937 年以降、() を戦っていた。
→第二次世界大戦でドイツがフランスを降伏させると、1940 年 9 月、日本は南進論によって () を開始した。
- 1940 年 9 月、日独伊の三国防共協定を発展させ、() が成立した。
→日本と、イギリス・アメリカとの対立が決定的となった。
- また日本とソ連も、1939 年にノモンハン事件で武力衝突するなど対立していた。
→しかし日本の同盟国であるドイツがソ連と独ソ不可侵条約を結ぶと、南方への進出に専念したい日本も、1941 年 4 月、() を結んだ。



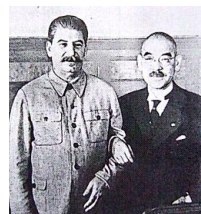
仏印進駐

この進駐は、資源の確保と蒋介石に対する支援を断つことが目的だった。歩兵は自転車に乗って移動したが、これは銀輪部隊と呼ばれて有名になった。



日独伊三国同盟のポスター

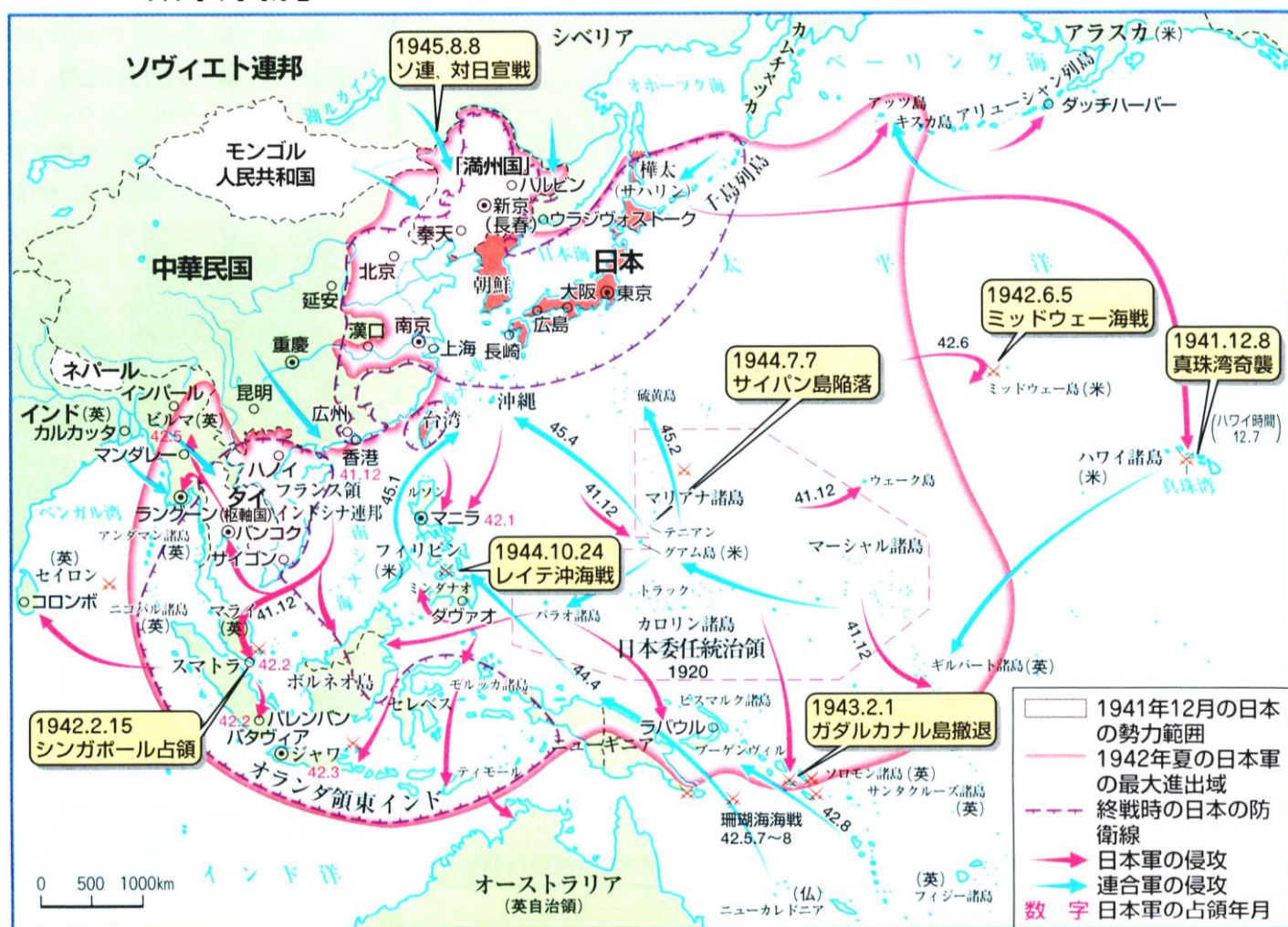
「仲良し三国」というタイトルで、日本で作られた宣伝用ポスター。後にこの三国で戦争に突入し、仲良く破滅することになる。



日ソ中立条約

腕を組むスターリンと松岡外相。ソ連はドイツとの対立が近いことを感じており、挟み撃ちを恐れて日本との条約を望んだ。独ソ戦はその2ヶ月後に始まった。

太平洋戦争(1941~45年)



2 第二次世界大戦とアメリカ

- ・アメリカは第二次世界大戦に対して中立を宣言していたが、1941年3月、
() を制定し、イギリスなどへの支援を開始した。



F=ローズヴェルト
ニューディール政策を進めていたが、景気回復にはほど遠かった。本音では景気回復のために、日本との戦争を望んでいたとされる。

- ・1941年8月、アメリカ大統領 () とイギリス首相チャーチルは、() を行った。
→ファシズム勢力に対して () を発表した。
※後の国際連合憲章の基礎理念となった。
- ・またアジア方面でアメリカは、日本の南方進出に大きな警戒感を抱いていた。
→アメリカは「 」を形成して、日本への石油輸出などを禁止した。
→日米交渉は行き詰まり、開戦が避けられない事態となった。
→アメリカからハル=ノートが提示されると、東条英機内閣は開戦を決意した。

3 アジア・太平洋戦争の開始

- ・() 年12月、日本はハワイの () を攻撃した。
→これにより () (大東亜戦争) が開始された。

- ・日独伊三国同盟の取り決めに従い、ドイツ・イタリアもアメリカに宣戦布告した。
※連合国に対して、この三国を中心とする側を () という。
→これにより、第二次世界大戦はその名のとおり全世界に戦火が拡大した。
- ・真珠湾攻撃に成功した日本は、続いて香港・マレー半島・() ・ジャワ島とスマトラ島・() ・ビルマ(ミャンマー)などを占領した。
→日本は「 」の建設を唱え、アジアの独立と共存をうたった。

<大東亜共栄圏の実態>

- ・実態は、日本がヨーロッパに代わって軍政を行い、アジアを支配しただけであった。
- ・() などの () 、() 、() 、アジアの女性を () として徴用したことは、後に非難を浴びた。



真珠湾攻撃

写真は沈む戦艦アリゾナ。宣戦布告文書の翻訳が遅れ、結果的に奇襲となってしまった。このことはアメリカ人の反日感情を大いに高めた。



シンガポール占領

「マレーの虎」と呼ばれた山下中将は、「降伏、イエスカノーか？」と、シンガポールの守備隊に迫ったとされる。



皇民化政策の宣伝写真

日本は、朝鮮やインドネシアの子供たちに、日本語教育を強制した。写真は西郷隆盛や吉田松陰の絵を持つ子供たち。

- ・1942年1月、連合国は、() を発表して互いの結束を強めた。
→1942年5月、英ソ軍事同盟が結ばれ、ドイツに対する戦争協力が進んだ。
→1943年5月、連合国の結束強化のため、ソ連は () を解散させた。